



第 183 号
 2023 年 7 月 15 日
 「助け合い粟田」発行
 会 長 大 園 毅
 電話 080-9533-4921
 編集責任者 持田 正弘
 電話 848-1817
 粟田町内会ホームページ
<http://awata-yokosuka.com>

助け合い粟田への御用は 080-1355-7789 (会長)
 080-8720-2480 (福祉・介護 専用)
 tasukeaiawata@outlook.com (千葉)へ →

粟田町内の高齢化諸問題に対処！

粟田町内では高齢者一人暮らしや高齢者夫婦世帯が増加し、日常生活に支障が生じて様々な問題に直面する事態が急増しています。粟田町内会・民生委員・助け合い粟田の3団体はこうした高齢化から派生した問題点などの迅速な解消に向けて福祉事案対策会議(仮称)を開設し、より身近で頼りになる町内活動を推進させて行きます。同時に、市及び北下浦地域包括支援センターなどの行政機関との連携をふかめ、よりの確な問題解決を目指します

なお北下浦地域包括支援センターは、平成18年10月に横須賀市の委託を受けて開設されました。地域で暮らしている高齢のみなさんの一番身近な公的相談窓口です。

介護や福祉に関する相談、健康や医療、生活に関することなど、気軽に相談できます。

北下浦地域包括 支援センター	営業日月曜日～土曜日(祝祭日、12月29日～1月3日を除く)
	営業時間 8:30～17:00(土曜日は8:30～12:00)
	電話 046-839-2606
	所在地 〒239-0841 横須賀市野比5-5-6 横須賀老人ホーム内



8月中旬 ごろより 自家用自動車を使った 活動再開を目指します。

助け合い粟田では利用会員が同乗しないで行う『買物代行』『荷物運搬』のサービスを再開いたします。なおこれらのサービスは事前に登録をした会員のみが利用できます、登録申し込みなど詳しくは電話にてお問い合わせください。『買物代行』『荷物運搬』サービスは往復5km程度で往復できる、エービー、生協岩戸店、ハック等に限定して行うものとします。

なお、利用料金などはコロナ以前と同様な料金体系としておりますが、昨今のガソリン高騰による実費のご負担をお願いすることとなります。(詳細は決定次第おしらせいたします)

また、利用会員が同乗するサービスもドライバーの確保、運用機能の整備などを経て再開いたします。

福祉・介護支援グループ
 ☎:080-8720-2480
 e-mail: tasukeaiawata@outlook.com

助け合い粟田へのご用命は
 こちらあてご連絡ください。

今までと同様、生活支援・家庭雑作業・庭仕事
 などのご用命は 助け合い粟田(大園 毅まで)

☎:080-1355-7789



ご注意、高齢者の 家庭内事故が 増えてます！！

国民生活センターの高齢者の家庭内事故の報告（平成22年12月から平成24年12月末までの統計）では、高齢者の住宅内事故516件中、原因として最も多かったのは転落157件で、住宅内事故全体の30.4%を占めています。次いで転倒の114件で住宅内事故全体の22.1%となっています。

転落、転倒が起こった場所については、階段が一番多く、転落事故内の43.3%、転倒事故内の15.8%を占めています。高齢者の家庭内事故は自分は大丈夫という少しの過信が遠因となっており、最近では高齢化が進み、浴槽でのヒートショック、エアコンの不適切な使用による熱中症等の原因が報告されています。

転落・転倒の住宅内事故の例

階段を踏み外して転落、階段でバランスを崩して転倒・起床時にベッドから転落・転倒 / スリッパ・靴下やじゅうたん・バスマット・毛布などに足をとられて転倒 / 風呂場で滑って転倒 / 庭の木の剪定作業のため脚立・はしごから転落 / 椅子に上ってものをとろうとした際や電球を取り換えている際に転落 / 玄関の段差でつまずいて転倒など。

高齢者の住宅内事故を防ぐために

高齢者は、何か動作をしているときに他のことに注意が向きにくくなり、作業中や歩行中に不注意で足を滑らして転倒するケースや、つま先がほんのわずかな段差でひっかるなど、何か動作に集中しているときに服に火が燃え移るなどのケースがみられます。

加齢に伴ってバランス能力、機能が低下しているという自覚が乏しいと、「これぐらいならできるだろう」と自分の対処できる能力以上のことを行い、事故につながってしまいます。

住宅内で転倒して骨折し、入院となるケースでは日常生活動作レベルが低下しやすくなります。再び歩行が可能となっても骨折後の痛みや関節の動きにくさが残り、動く機会が少なくなると身体機能がさらに低下し、転倒リスクが高くなります。

またエアコンの不使用、トイレ・風呂場でおきるヒートショック等高齢者ならではの事故が多発しています。

高齢者の家庭内事故を防ぐには活発に動くことで体力をつけること、ちょっとした段差、滑りやすい場所の確認、手すりの設置、歩くところに物を置かないなどの工夫が高齢者の家庭内事故を防ぐことに有効です。

★ 令和5年6月の＜助け合い栗田活動報告・登録情報6月末現在＞



<input type="checkbox"/> 利用会員登録数	418名 (前月比+13)
<input type="checkbox"/> 活動会員登録数	47名 (前月比+1)
<input type="checkbox"/> 活動時間 (作業系+福祉系)	111.75時間 (前月比 -13.5)
<input type="checkbox"/> 利用者数	14名

助け合い栗田では当会の**活動会員**を求めています！